

## 令和5年度指定管理者モニタリング外部評価結果

施設名	関市田原ふれあいセンター
-----	--------------

選定方法	特定者氏名	
------	-------	--

### 外部評価

4	優れている
---	-------

### コメント

- ・独自の企画も多く、利用者増に向けてコミュニケーション(声掛け)をとるなど尽力されている。
- ・「田原」に密着したイベントが計画され、定期的に防災訓練や地域住民との積極的な交流が行われており、今後も利用者拡大が期待できる。
- ・利用者とのコミュニケーションが取れている。
- ・4人雇用でうまく回っている。声掛けもとても重要で工夫を共有する機会をつくりたい。
- ・適正に運営されている。
- ・協定書に修繕費の件数上限がないのはやや問題がある。
- ・利用料金は市内と市外の方で価格差を設ける検討をすべきである。

令和4年度 指定管理者モニタリング結果票

施設名	関市田原ふれあいセンター
所在	関市西田原1426番地1
指定管理者	田原みらいづくり協議会
担当部署	協働推進部 市民協働課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
総合評価	<p>コロナ禍や施設大規模修繕で利用者は減少したが、今後も地域住民の交流の場を提供し、地域に密着したコミュニティ活動の拠点施設としての取り組みを図られたい。</p>
合目的性・公平性・効果性(施設の目的との合致、市民の平等利用の確保、施設の効用発揮)	<p>主に田原地域の住民に利用されており、田原地域の拠点施設として地域のコミュニティ活動及び地域の発展に大いに寄与しているものと考ええる。</p>
機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)	<p>施設の利用団体で連絡協議会を結成しており、広報紙も定期的に発行している。みんなのおうち事業を継続して取り組んでいる。竹細工教室や防災農園、田原の歴史に親しむなどの幅広い分野のイベントが計画されている。</p>
責任性・実効性(施設の運営体制・組織)	<p>パート等の職員を3名雇用し、必要十分な職員体制で業務を行っている。また、より運営体制の強化を図るため、増員が行われた。</p>
安定性・安全性(管理の安定性と安全管理、緊急時等での対応)	<p>必要な保守点検業務を実施しており、施設の安全管理に努めている。緊急時の連絡体制を整備し、訓練も定期的に行っている。</p>
社会性・貢献性(市や地域への貢献、環境への配慮等)	<p>地域委員会の活動や地域のサークル、教室への貸館業務を通して市や地域に貢献していると考ええる。環境面としては、利用者に省エネを呼び掛けている。</p>
効率性・経済性(経費の縮減と収入の増加対策)	<p>空調設備の大規模修繕が行われたため利用者が減少し電気代も減少している。</p>
経営の健全性	<p>空調設備の大規模修繕が長期間行われたため、定期的な施設管理が行われなかったこともあり、繰越金が多いと考えられる。</p>
課題・業務改善への考え方	<p>指定管理者としての管理運営は問題なく行われており、引き続き良好な管理運営をお願いしたい。</p>

## 過去3か年の運営状況

施設名	関市田原ふれあいセンター
指定管理者	田原みらいづくり協議会
担当部署	市民協働課

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数(人)		4,754	5,918	11,687
収入	収入額(円)	6,001,586	6,305,372	7,293,062
	うち市からの指定管理料(円)	3,889,000	3,651,000	3,697,000
	他の主な収入内容	265,260	219,940	389,310
	使用料の受入先 (どちらかに○)	指定管理者	○	
		市		
支出	支出額(円)	4,393,287	4,052,602	5,223,065
	主な支出内容	維持管理経費	維持管理経費	維持管理経費
差引	差引(円)	1,608,299	2,252,770	2,069,997
	損益の処理方法 (どちらかに○)	指定管理者	○	
		その他(具体的に)		( )
職員数	職員数(人)	3	3	3
	内パート等の人数(人)	3	3	3